

ハートン通

ちょっと怖い魔界の京都編

2018.5 武田

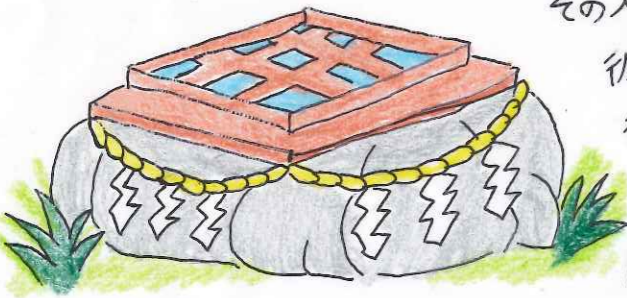
京都といえば清水寺や金閣寺、南禅寺等が有名ですが、今回は、ほんやりしたイメージが強い京都の知られざる魔界の一面をご紹介します。信じるか信じないかは、あなた次第…?

その①六道珍皇寺(ろくどうちんのうじ)

古くから、この世とあの世の分岐点がこのお寺の境内あたりであるといわれています。その理由として、その昔、遺骸を風葬地である鳥辺野まで運び送る道筋だったこと、小野妹子の子孫、小野篁が夜毎冥府通いの為に六道珍皇寺裏庭にある井戸を

その入口として使っていたことが挙げられます。

彼は、母親の霊に会いたい一心で井戸から地獄へ行きました。そして母親を救うために閻魔大王に直談判したことが、その後地獄の冥官、つまり閻魔大王のもとで働くきっかけになったといわれています。



その伝説の井戸は、特別拝観期間中であれば見学が可能です。ついつい引き込まれそうになる冥途通いの井戸や迫力ある閻魔大王像を是非ご覧になってください。

京都では“六道さん”の名で親しまれており、毎年8月7~10日に冥途にも届くといわれる迎え鐘をついて先祖の七魂・精霊を迎える“六道まいり”が行われます。

アクセス: 四條鳥丸より市バス207番 → 清水道下車 徒歩5分

時間: 9:00 ~ 16:00 (15:30閉門) 境内は通常時いつでも自由に参拝可。

特別拝観期間の日程は、公式HPをご確認ください。

その②みなとや幽霊子育飴本舗

夜な夜な買いに来る幽霊に飴を売ったとする飴屋さん。。。その幽霊は赤ん坊をみごもっている時に亡くなった女性でした。亡くなった後もその赤ん坊のために飴を買いに来ていたようで、すくすくと育ったその子はお墓の中から



生まれたといわれています。

アクセス: 四條鳥丸より市バス207番 → 清水道下車 徒歩6分

営業時間: 10:00 ~ 16:00 (年中無休)

その③晴明神社



天文学者安倍晴明をお祀する、“魔除け”“厄除け”の神社です。

創建当時は東は堀川通、西は黒門通、北は誓願寺通、南は中立売通という広大なものであったとされています。

広く世の中の尊敬を集めていた安部晴明の伝説の一部が境内にずらりと飾られている他、安倍晴明が念力で湧出させたといわれる“晴明井”、自身の厄を撫でつける“厄除桃”等、見所がたくさんあります!

アクセス: 地下鉄東西線 鳥丸御池 → 二条城前

→ 二条城前より市バス12番 → 一条戻橋・晴明神社前下車 徒歩2分

参拝時間: 9:00 ~ 18:00



その④大將軍八神社(だいにしょうぐんはちじんじや)

建築・移動・婚姻・旅行・交通等 毎日の生活に於いて、あらゆる厄災から人々を守る方除け・厄除けの神様として広く信仰されています。何か新しいことにチャレンジするときに参拝がオススメ! 北斗七星のお守りが人気で、毎年1~2月に行われている“西大路七福社ご利益巡り”のうちの1つです。

一方で、方位を司るこの神の方位を犯すと厳しいとがめを受けるといわれ、非常に恐れられてきた神様でもあります…。

八十体の神像が所蔵されている圧観の方徳殿は、5-11月に公開されています。

近くには手作りの妖怪たちが商店街の店先に並んでいることで有名な妖怪ストリートもあります。境内はとても静かで、ゆっくり参拝していただくと思います。

アクセス: 鳥丸御池より市バス51番 → 北野天満宮前下車 徒歩5分

参拝時間: 9:00 ~ 17:00

